

北里大学病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	電気痙攣療法中のプロポフォール繰り返し投与による 薬剤耐性の有無を検討する前向き観察研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 精神科学 助教 澤山恵波
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当せず
本研究の概要・ 背景・目的	(背景)電気痙攣療法(Electroconvulsive Therapy: ECT)は人為的にけいれん発作を誘発する難治性のうつ病に対する治療法です。ECTは通常、一人の患者に対し、週2回、合計6~12回施行します。ECTの回数を重ねるうちに、前回の投与量では就眠しなくなる現象を経験することがあります。原因はプロポフォールに対する耐性が生じるためだとする意見もありますが、結論はでていません。(目的)今回の観察研究では実臨床通りECTを実施したデータを収集し、その結果、1~12回のECTの施行回数が増えるに従い、プロポフォールの必要量も増えていくのか観察します。実施の際は痛みを感じないように深い鎮静下で行います。また、プロポフォールの投与量が増えると痙攣発作をおこしにくくしたり、うつ病の改善程度を遅らせたりすることがあるのかについても併せて検討します。
調査データ 該当期間	2019年12月18日~2025年10月31日
対象となる患者さま	上記の期間内でECTが適応となるうつ病の患者様
研究の方法 (使用する試料等)	<利用する情報>2020年4月1日~2025年10月31日に行われたECT施行時の、実臨床で通常取得されているデータ、電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用し、実臨床で行わないような検査や方法は行いません。
試料/情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
データの利用に同意 されない場合とその 申し出の期限	この研究に関してデータの利用に同意されない場合には下記のお問い合わせ先までご連絡ください。お申し出は2025年10月31日までお願いいたします。なお、同意されない場合でも診療上の不利益をこうむることはありません。ただし、研究の進捗状況により、情報の利用に同意しない場合でも対応できない場合も生じます。(匿名化後、論文化後等)
お問い合わせ先	所属・職位：精神科・助教 担 当 者：澤山 恵波(サワヤマ エナミ) 電 話：(代表)042 (778) 8111
備 考	